

## (特非) 森からつづく道

# オオキトンボを育む里地を知る・保つ・伝える・つなげるプロジェクト

活動地域

 愛媛県松山市北条地域



小学3年生の授業でのオオキトンボ産卵観察

### 課題

希少種・オオキトンボが生息するため池で発生が減少が続き、湛水開始の遅れ等が要因と推察されたが、特定は困難であり、農業従事者に保全の関心を高めてもらいたい。

### 目標

本種が発生する五つのため池の管理者により、生息地ネットワーク構想が共有され、広域で本種の生息に寄与するため池管理が導入され、生息数の増加傾向が継続する。



今後の  
展望

複数のため池において本種の生息環境維持に資する管理を働きかけ、生息地ネットワーク構築を推進する。里地の生物ポスターを小学校で掲示してもらい、解説の機会によって接点を増やし、保全の機運の醸成を進める。

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

### 活動内容と成果

- 本種の生息環境の維持に資するため池管理のマニュアルを基に発生のコア池の水管理が行われ、激減した2018・2019年から発生が増加に転じた
- 本種の認知度調査では、市中心部で16%、地元では29%であり、さらなる認知度向上が必要
- 里地・里山の調査から、トンボ・野鳥・チョウ・植物の4種のポスターを制作し、生物多様性を発信するツールの整備が進んだ
- 本種に関する学習が小学校の授業として定着。近隣2高校が本種の保全をテーマに研究や情報発信に取り組んだ。ピーチクリーン活動団体と連携が生まれた



イベント出展でのトンボ占い・認知度調査

認知度調査参加者

253人

ステークホルダー増加数

3組織

今年度計画の達成度

75%

目標達成度

40%

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

調査結果報告や水管理状況の聞き取りにあたり、ため池管理者と日程調整が難しく、草刈りに参加して情報提供・収集を進めた。

### ■工夫した点

身近にいる多様な生物を解説するオオキチくん通信(A4カラー両面)を発行し小学校等に配布。22号を数え好評を得ている。

〒790-0827

愛媛県松山市鉄砲町1-7

電話：089-992-9152

E-mail：info@morimichi.org

HP：http://morimichi.org

